

54期進路だより

第1回河合マーク模試を振り返ろう

5月8日(日)の初めての外部会場受験から約1か月が経ちました。やり直しノートにも頑張っており取り組んでいることと思います(やり直しノート提出は6月10日!)。

今日は河合マーク模試(第1回全統共通テスト模試)の結果を返却します。個人成績表を見てまず気になるのは志望校の判定ではないでしょうか。その気持ちはもちろんわかりますが、この続きを読むでしっかりと分析と復習をするようにしましょう!

模試を受験する目的を再確認しよう

まず見てしまう偏差値やA~Eの判定(合格可能性)よりも、模試受験の目的に立ち返ることが大切です。模試受験の意義は判定で一喜一憂することではありません。現状(自分の立ち位置)を確認するとともに、**自分の得意と不得意を把握して、弱点の克服を考える**ことが重要です。

① 「**3** 設問別成績(裏面D)」や「**4** 正答・誤答マーク読み取り状況(裏面E)」で教科・設問別結果を分析! → できていないところを把握 → 効果的な学習計画を立てよう!

② **間違えた問題は時期を変えて復習**して完全に自分のものにしよう!

(A) 試験当日 (B) 返却時(つまり今) (C) 忘れかけるところ(2~3か月後=夏休み頃)

このABCの3段階で確認していくことで、知識をしっかりと定着させることができます!

③ **各問題の正答率による分析**も重要!

上記①・②とも重なりますが、各問題の正答率による分析もしておきましょう。成績統計資料・学習アドバイスの冊子「ANTENNA」p13~17には「**設問別正答率表**」が記載されています。正答率が低い問題は難問です。できるに越したことはありませんが、**正答率が高い(ほかの人はできている)にもかかわらずできなかった問題を優先的に復習して、次に類題が出たときには必ず得点できるように対策**をしましょう。

自己採点の重要性和マークミス

共通テストの本番では**自己採点の結果から最終的な出願先を決定**します。**自己採点だけが頼りなのです**。共通テストはマーク式ですから、マークミスは重大な問題になります。

① **自己採点は実際の採点(個人成績表)と合っていましたか?**

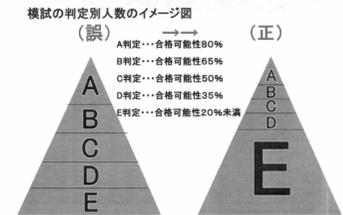
共通テストの翌日に自己採点をして、それを河合塾などに送付して判定資料を出してもらいます。**自己採点の信頼性・精度が低いと自信をもって出願先を決められません**。

② 「**マークミス**」や「**マーク無し(空白のまま)**」はありませんでしたか?

クラスや出席番号を間違っている人、志望校マークミスで正しく判定が出ていない人がまだいます。**最初に気を付けていれば、また、見直しをしていれば防げるマークミスでの減点は絶対に避けましょう**。過去にはマークが1問ずつずれていたために、数十点の損をした人もいます。また、もし**時間が足りなくても全問マークをして提出**しましょう。日ごろの学習が重要なのは言うまでもありませんが、「**正確な自己採点**」と「**正確なマーク**」の両輪が**合否を分ける**こともあります。今回マークミスがあった人はもちろん、そうでない人もくれぐれも気を付けましょう!

それでもやっぱり判定が気になる人は……

2年生のときにも紹介したイメージ図ですが覚えていますか。**模試の判定別人数の半分以上がE判定というのが難関大学の実際のところ**です。3年生の模試は、既卒生(浪人生)も一緒に受験していることもあり、5月の模試は現役生には厳しい判定が出やすいこともあります。**E判定だと諦めるよりも、「次こそD判定に!」**



くらしい気持ちで最後まで諦めずにやるべきことに向き合う姿勢がとても大切です。具体的には、「**2** 志望校別成績・評価(裏面C)」の欄を見て、**あと何点で上の判定に入れるか**、また、D判定の人は**ボーダーライン(=合格可能性50%)まで何点かを確認**することが重要なのです。

※ **A~E以外の判定が出ている人へ**

判定G=教科・科目数不足。例)「政治経済」ではなく「倫理政経」が必要だった。

判定R=社会2科目の組み合わせは満たしているが、第1解答科目の指定が反対。

判定H=範囲不足。例)理科②(基礎なし科目)指定を理科①の「○○基礎」で受験。

上記いずれも、**各大学の入試要項で正しい受験科目選択を確認**しておきましょう。

最大のライバルは自分自身! 成績推移も確認を!

最後の「**5** 成績推移(裏面F)」も**重要**です。判定に一喜一憂するのではなく、教科別の成績推移を見てください。ここでの**レベルや偏差値の推移から自分の成長を読み取り**ましょう。そして、受験における最大のライバルは過去の自分自身です。**7月には夏期講習が設定**されています。**積極的に参加して過去の自分に打ち勝つための努力を**しましょう。

また、**現段階で教科・科目を絞ってしまい自分の可能性を狭めてはいけません**。5教科7科目全てを受けなかった者がいました。とても残念に思います。**54期生全体で、最後まで諦めないという雰囲気**をつくっていきましょう。

【今後の進路予定】

- ① 7月19日~28日: 三者懇談期間
- ② 7月31日(日): 第2回全統共通テスト模試
- ③ 9月1日(木) 共通テスト説明会
- ④ 9月4日(日): 第2回全統記述模試

河合塾のサイトより引用（個人成績表の見方）

(A) 成績概況

1-1 (1) 成績概況		Sレベル…偏差値65.0以上 Aレベル…偏差値60.0~64.9		Bレベル…偏差値55.0~59.9 Cレベル…偏差値50.0~54.9		
教科・科目	あなたの得点 / 配点	偏差値	学力レベル	平均点 (位)	順位 (人中)	
英語	74 / 100	60.7	A	56.6	42390 / 236700	
リスニング	72 / 100	60.1	A	60.2	39654 / 214521	
英語①	146 / 200	60.4	A	115.4	37933 / 214268	
数学①	50 / 100	54.3	C	55.1	105763 / 174127	
数学②	64 / 100	59.7	B	42.1	24206 / 161311	
数学①②	114 / 200	59.7	B	98.0	55768 / 164907	
国語	133 / 200	55.6	B	126.8	78587 / 220621	
英語総合	- / -	-	-	43410	162561	
第1 物理	83 / 100	66.1	S	55.7	5964 / 65308	
第2 化学	63 / 100	58.6	B	57.9	32370 / 93746	
地歴 第1 倫理政経	70 / 100	65.3	S	66.2	8979 / 23373	
公民 第2	- / -	-	-	-	-	
総合1	5-7理系	614 / 900	61.0	A	546.2	23337 / 83115
総合2	理系	- / -	-	60.7	A	22220 / 110474

今回の得点と全国レベルでの偏差値や順位などを、科目別、受験型別、文系・理系別に確認でき、さらには現卒内や校内の順位も確認できます。
※全統共通テスト模試、全統ブレ共通テストの理科、地歴・公民については、第1・第2解答科目が表示されます。

偏差値別の評価として「学力レベル」を導入し、得点や偏差値では見えにくかった科目間のバランスや苦手科目を把握できます。

(B) 合格可能性評価用成績

1-2 (2) 合格可能性評価用成績	
志望大学の合格可能性評価に用いる成績を表示しています。	
1 共通テスト換算得点	2 私大評価用偏差値
教科・科目	換算得点/配点
英語	78 / 100
リスニング	78 / 100
数学1A	49 / 100
数学2	72 / 100
現代文	65 / 100
古文	25 / 50
漢文	25 / 50
第1 物理	87 / 100
第2 化学	69 / 100
第1 倫理政経	67 / 100
第2 5-7理系	645 / 900

①大学入学共通テストを課す大学について
昨年度の全統共通テスト模試と今年度の大学入学共通テストとの相関をもとに、各科目の得点を換算した「共通テスト換算得点」を表示します(理科、地歴・公民については、第1・第2解答科目が表示されます)

②私立大学について
私立大学の合格可能性評価用を使う数学と国語について、より正確な学力評価を行うため、受験者集団を切り分けて算出します。

(C) 志望校別成績・評価

1	第1志望校	第2志望校	第3志望校	第4志望校
英語	74 / 100	60.7	A	56.6
リスニング	72 / 100	60.1	A	60.2
英語①	146 / 200	60.4	A	115.4
数学①	50 / 100	54.3	C	55.1
数学②	64 / 100	59.7	B	42.1
数学①②	114 / 200	59.7	B	98.0
国語	133 / 200	55.6	B	126.8
英語総合	- / -	-	-	43410
第1 物理	83 / 100	66.1	S	55.7
第2 化学	63 / 100	58.6	B	57.9
地歴 第1 倫理政経	70 / 100	65.3	S	66.2
公民 第2	- / -	-	-	-
総合1	5-7理系	614 / 900	61.0	A
総合2	理系	- / -	-	60.7

①「志望校の合格可能性評価」と「評価別人数グラフ」で正確な学力の位置を確認できます。
→国公立大では評価別人数とその基準点を表示し、私大・短大では学科内の評価別人数とその基準偏差値を表示します。

②「志望校の第1志望における順位」と「総志望者における順位」を確認できます。
→当該大学・学部・学科を第1志望とする人の順位と志望者全体での順位を表示します。

※第2志望以下の大学についても、第1志望者母集団に当てはめた場合の順位を表示します。

③「教科別成績」で入試に必要な教科学力を確認できます。
→各志望校の教科別の配点と志望者の平均偏差値を表示します。また、各志望校の大学入学共通テストおよび個別試験による受験者の配点も表示します。

(D) 設問別成績

1	設問別成績	2
英語	74 / 100	60.7
リスニング	72 / 100	60.1
英語①	146 / 200	60.4
数学①	50 / 100	54.3
数学②	64 / 100	59.7
数学①②	114 / 200	59.7
国語	133 / 200	55.6
英語総合	- / -	-
第1 物理	83 / 100	66.1
第2 化学	63 / 100	58.6
地歴 第1 倫理政経	70 / 100	65.3
公民 第2	- / -	-
総合1	5-7理系	614 / 900
総合2	理系	- / -

①教科別にどの分野を補強すべきか確認できます。
→設問別に配点・得点・平均点を表示し、科目ごとに「学習のためのアドバイス」もあわせて表示します。また、受験者と同じ学力レベル層の成績と比較し、もっとも良かった設問に「O」、悪かった設問に「▲」を表示します。さらに、「設問別バランス」では各分野の得点率に偏りがなければ視覚的に確認できます。

②第1志望校の一段階上の判定者との成績比較ができます。
→第1志望校の判定がC判定であれば、B判定者との成績比較を設問別に表示します。

(E) 正答・誤答マーク読み取り状況

1	正答・誤答マーク読み取り状況
英語	74 / 100
リスニング	72 / 100
英語①	146 / 200
数学①	50 / 100
数学②	64 / 100
数学①②	114 / 200
国語	133 / 200
英語総合	- / -
第1 物理	83 / 100
第2 化学	63 / 100
地歴 第1 倫理政経	70 / 100
公民 第2	- / -
総合1	5-7理系
総合2	理系

マークの読み取り状況と自己採点結果を比較し、マークミスやどのような間違いをしたのかを確認できます。

(F) 成績推移

5	成績推移
英語	74 / 100
リスニング	72 / 100
英語①	146 / 200
数学①	50 / 100
数学②	64 / 100
数学①②	114 / 200
国語	133 / 200
英語総合	- / -
第1 物理	83 / 100
第2 化学	63 / 100
地歴 第1 倫理政経	70 / 100
公民 第2	- / -
総合1	5-7理系
総合2	理系

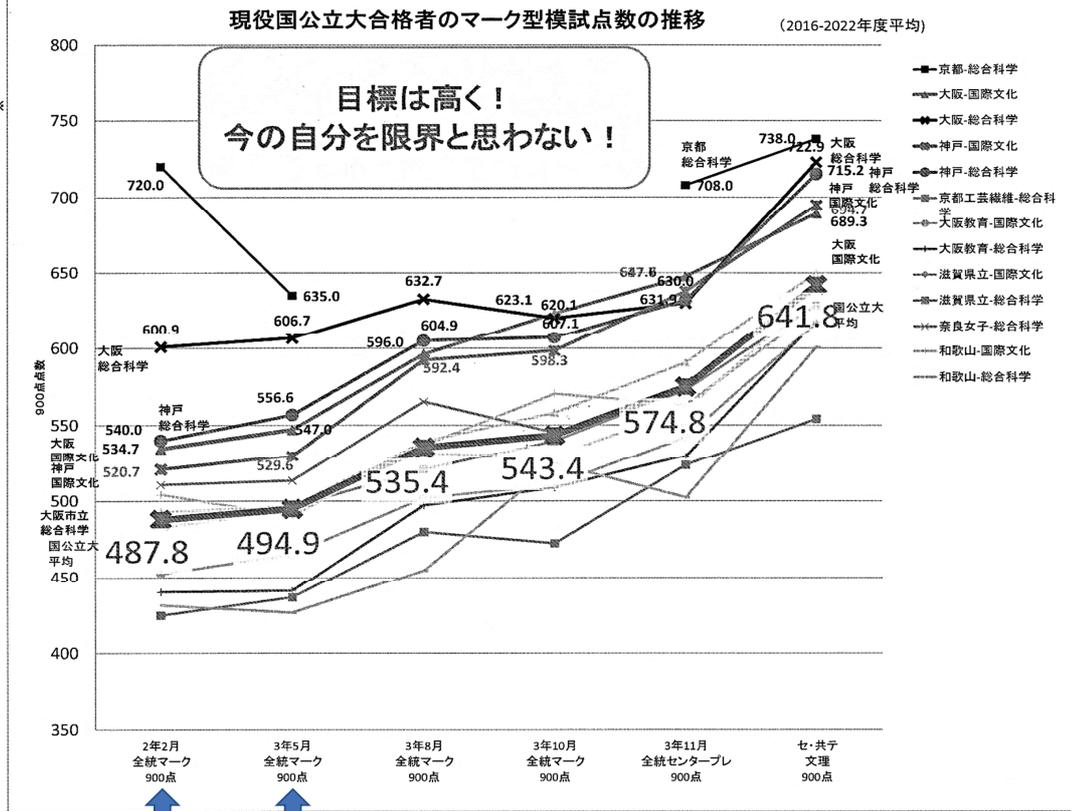
共通テスト模試では最大5回分、記述模試・高2模試・高1模試では最大3回分の過回成績を表示します。今回の成績だけでなく、長期的な学力の変化を確認できます。

5月「全統共通テスト模試」の振り返り

15.千里高生現役国公立大合格者のマーク模試点数の推移(2016-2022年度の平均)

大学名	2年2月 全統マーク 900点	3年5月 全統マーク 900点	3年8月 全統マーク 900点	3年10月 全統マーク 900点	3年11月 全統センター 900点	セ・共テ 文理 900点
京都-総合科学	720.0	635.0			708.0	738.0
大阪-国際文化	534.7	547.0	596.0	623.1	647.6	689.3
大阪-総合科学	600.9	606.7	632.7	620.1	630.0	722.9
神戸-国際文化	520.7	529.6	592.4	598.3	637.7	694.7
神戸-総合科学	540.0	556.6	604.9	607.1	631.9	715.2
大阪公立-国際文化	474.5	493.3	543.8	535.8	595.3	626.0
大阪公立-総合科学	482.8	484.2	512.9	516.4	548.5	616.1
大阪公立-国際文化	504.1	501.9	575.5	601.2	631.0	683.1
大阪市立-総合科学	494.5	517.3	555.5	554.2	592.9	680.8
大阪府立-国際文化	463.3	502.6	508.1	533.8	588.3	664.8
大阪府立-総合科学	518.3	525.8	565.4	557.9	604.4	677.6
京都工芸繊維-総合科学	487.1	496.3	520.8	539.7	572.7	628.6
神戸市外-国際文化	501.0	493.1	506.1	538.8	595.1	656.3
京都府立-国際文化	479.8	474.2	502.3	512.9	539.4	593.6
京都府立-総合科学	458.8	399.8	517.3	531.7	588.3	615.8
大阪教育-国際文化	452.4	465.2	502.0	510.3	542.1	616.5
大阪教育-総合科学	439.9	440.7	497.2	508.7	529.7	617.8
滋賀-国際文化	486.5	478.0	511.1	568.4	584.0	639.1
滋賀-総合科学	466.9	465.7	521.9	519.2	593.8	614.3
滋賀県立-国際文化	423.4	446.0	492.0	494.5	500.7	600.3
滋賀県立-総合科学	424.6	436.4	479.9	472.3	523.5	554.1
奈良女子-国際文化	496.7	498.5	605.7	607.0	676.0	577.5
奈良女子-総合科学	510.7	513.3	565.3	545.0	574.3	641.7
兵庫県立-国際文化	502.2	485.3	540.4	568.6	601.8	628.1
兵庫県立-総合科学	463.0	479.3	510.5	543.3	505.5	590.1
和歌山-国際文化	504.3	490.0	536.8	570.3	563.0	625.3
和歌山-総合科学	431.3	426.3	454.7	524.3	502.3	600.7
国公立大全体-国際文化	493.0	496.5	539.3	558.0	590.7	649.8
国公立大全体-総合科学	482.8	493.4	531.6	529.8	560.0	634.7
国公立大全体-総計	487.8	494.9	535.4	543.4	574.8	641.8

※大阪大学の外国語学部以外の文系学部を目指す人は、理系学部(総合科学科)と同じくらいの点数を目指そう。



1. 自分の模試成績から現在地を確認しよう

①「千里生(現役国公立合格者)のマーク模試点数の推移」の折れ線グラフに、赤ペンで自分の全統マーク模試2回分(2年1月全統マーク/3年5月全統マーク)の合計点数(900点満点)の点を打ち、直線でつなぎなさい。※「2年2月全統マーク」と書いてあるところに「2年1月全統マーク」を書くこと。

2. 自分の模試成績とおもな大学のボーダーラインを比較してみよう

②グラフの数値を使い、次の表を完成させなさい。

この大学と比較しよう	2年1月全統マーク 点数			3年5月全統マーク 点数		
	千里現役合格者	あなた	その差 ±●点	千里現役合格者	あなた	その差 ±●点
国公立大全体(総計)	487.8点	点	点	494.9点	点	点
※ (国際文化/総合科学)	点	点	点	点	点	点

※上の表から大学を自分で1つ選んで大学名を書き込むこと。国際文化/総合科学のどちらかに○を付ける。書き込む点数も学科によって異なるので注意。

③共通テスト利用方式のある私立大学の「共通テストボーダーライン」と試験科目を見て、自分の模試成績から換算得点を計算しよう。文系・理系各2つで可。

この大学と比較しよう	共通テストボーダーライン(合格率50%)	共通テストボーダーライン(合格率50%)		全統マーク点数(換算)	
		得点率	得点/満点	2年1月	3年5月
同志社 国際文化 地域文化 3-0116	文系	90%	540/600	英 200(配点 R:L=2:1)、国 200、数 I A/数 II B/理基/理から①100、地歴 B/現社/倫/政から①100 = 4科目	
近畿 経済 経済前期	文系	72%	252/350	英 150(配点 R:L=4:1)、国(現古)/数/理基/理/地歴公から②200 = 3科目	
同志社 理工 機械システム工	理系	91%	546/600	英 200(配点 R:L=2:1)、数 I A II B 200、物 100、化 100 = 5科目	
近畿 理工 社会環境工前期 5科目	理系	68%	340/500	英 100(配点 R:L=4:1) 数学 II B 100、国(現)100、物/化/生から①100、地歴から①100 = 5科目	

※教室の棚に置いてある進路冊子『Guideline』(河合塾)で、その他の大学の共通テスト利用方式のボーダーラインも調べることができます。ぜひ見てみよう！

－ 先輩の合格体験記から学ぶ －

過去数年の先輩が後輩のために残してくれた体験記です。一足早く受験を経験した先輩が、成功談や失敗談、それらをふまえたアドバイスを書いています。先輩に続け！54期生！

①「受験にむきあうということ」 大阪公立大学 (国際文化科)

進学するかどうか、進学先で何をするか、私にとって受験で1番苦しかったのは、勉強よりもそれらと向き合うことでした。何度考えても答えが出ず、ようやく決心できたのは高3の12月のことです。家族をはじめとして、学校や塾の先生など、たくさんの人に迷惑をかけて、導いてもらい、慎重に決断をした、そんな進路決定でした。たくさん悩んで、泣いて、話し合っ、そうやって決めた自分の進路に、今、後悔はありません。高校3年生の時期に、大変だと思うことは本当に人それぞれです。どんな進路を選ぼうと、必死に選んだ道は間違っていないと思います。自分の好きなものを見つけてください。自分の将来を描いてみてください。そうすればきっと、どこにいても頑張れます。

私たちの学年はよく、先生たちから「受験は団体戦だよ」と言われていました。私は毎日、下校時刻まで学校に残って勉強をしていました。下校を促す放送が入って、「今日も1日頑張った」と友達と笑いあう時間のおかげで、1日1日を大切に、毎日努力できたように思います。また私は、授業中に寝たりせずに先生の話最初から最後まで聞き、面白いなと思ったことや不思議に思ったことはメモするようにしていました。授業で分からなかったところは友達と考えてみたり、先生に聞きに行ったりします。そうすると、それぞれの教科に興味がわいてきて、不思議と勉強が楽しくなるのです。嘘みたいだけど、本当です。

受験は正直、苦しい時もあります。そんなときこそ、周りの人と、笑ってください。行事は思い切り楽しんでください。思い出は、受験期も、そしてその後もきっと力になります。毎日規則正しく生活することも、とても大切だと思います。よく食べて、よく寝て、効率を上げられるように工夫すること。焦りが出てしまうときには難しいけれど、生活リズムを整えることが鍵だと思います。1年間は結構長いです。でも、何か理由があるのなら、頑張れる1年間です。これから受験生になる皆さんが“自分の好き”に出会えるように願っています。

②「総合型選抜体験談」 (総合科学科)

私は総合型選抜(旧 AO 入試)を利用して志望校に合格することができましたので、その経験を踏まえて、総合型選抜を利用した受験についてお話ししたいと思います。

私が最初に総合型選抜を意識し始めたのは高校2年次の1月頃でした。きっかけは、科学探究で研究していた題材をマスフェスタ(全国数学生徒研究発表会)で発表する機会をいただき、この経験を自分の受験に役立てることができるとは思わなかったと考えると、総合型選抜を利用しようと思に至りました。それから時は飛んで8月中旬、総合型選抜の始まりは早く、9月中旬の一次選抜に備えて志願書などの書類の準備をしなければなりません。赤に染まった付箋まみれの志願書だったモノと格闘する日々が続きます。一次選抜を突破すると間もなく面接対策が始まります。学校の先生と模擬面接を重ね、志望動機、高校時代の経験、大学で学びたい分野などを脳内で自問自答する日々が続きます。二次選抜を突破するといよいよ最終選抜です。最終選抜はとてもシンプルで、共通テストに必要な点を取ることです。晴れて最終選抜を突破すれば、2月中旬に合格通知が届きます。

最後に1つ。これが1番大切なことになるのですが、総合型選抜だけで大学に合格しようと考えては絶対にいけません。結果的に総合型選抜で合格した私ではありますが、本命は一般入試であり、総合選抜はスクラッチを削る心持ちで臨みました。ですから、一般入試対策と並行して総合選抜の準備を、前述の工程を行っていたこととなります。お勧めはしませんが、やるだけの価値はあると思います。では、受験頑張ってください。

③「私の勉強法」 大阪大学 (国際文化科)

私が志望校を決めるきっかけとなったのは、2年の時に面談で担任の先生から言われた志望校選びの候補に大阪大学が入っていたことでした。私自身はその頃、大阪大学に行く気もなく行けるとも思っていなかったので、とても驚きました。それから自分がやりたいこと、学びたいことを探す中で、2年生の冬頃に大阪大学を志望校に決めました。

私が本格的に受験勉強を始めたのは、3年生の4月頃でした。それまでは定期テストの前に慌てて勉強するという怠惰な日々を送っていたので、周りの人との差を感じて焦ってしまうこともよくありました。そのような中でも、志望校の学力に届くための勉強計画を自分で立てて行動するうちに、成長を感じることが出来たことが嬉しかったです。勉強の仕方や時間は人それぞれで自分に合うものがあると思うのですが、勉強する習慣をつける大切さは全員に当てはまると思います。勉強して1度解けるようになったものは、時間が経って忘れてしまっても思い出しやすいので、提出物や定期テストに毎回しっかりと取り組んでいると、3年生になった時にとても楽だと思います。

また、参考書は絶対に買すぎないことをお勧めします。夏休み前にたくさん参考書を買いましたが、消化しきれず無駄になってしまうものもありました。新しく買わなくても学校でもらう問題集や参考書など、本当に自分に必要な教材を何度も繰り返した方が何倍も力になると感じました。

私が個人的にやって良かったと思う習慣は、よく寝ることと、1日の勉強時間を決めておくことです。眠いと勉強出来なかったため、早寝早起きを心がけました。また、「今日は○時間勉強する」と決めることで、ON・OFFの切り替えが出来るようになりました。自分に合う勉強法を探すことも1つの勉強だと思うので、是非試してみてください。勉強をしていると自分が出来ていない箇所ばかりに気になって辛くなると思うので、自分が出来るようになったことも見つけると良いと思います。どんなことでもコツコツ続けていけば、自分が思っている以上に成長することが出来るので、勉強でも、勉強以外のことでも是非続けてみてください！

④「最後まで全力でやりきろう」 大阪公立大学 (総合科学科)

私が志望校を決めたのは、1年生の時に大阪市立大学のオープンキャンパスに行き、「この大学で学びたい!」と思ったことがきっかけでした。オープンキャンパスでは、大学の施設を見られることはもちろんですが、学生さんと話したり、授業の様子を見ることで、その大学をより深く知ることが出来ます。積極的に参加するべきだと思います。

次に、受験勉強についてです。私は、2年生の終わりの頃から勉強を始めましたが、この約1年で気づいたことは「勉強は量より質」ということと「諦めないことの大切さ」です。まず、1つ目の「勉強は量より質」についてです。よくネットで「受験生は休日に○時間勉強するべき」と書いてあったり、友達が「昨日○時間も勉強した」と言ったりして、焦る人も多いと思います。しかし、1番大切なのは、その勉強時間でどれだけ学んだのかです。質のいい勉強をするためには、1日のノルマを決めることと環境を整えることをおすすめします。ノルマを決めることでその日のうちにやらなければいけないことが明確になり、「それが出来たら終われる!」というモチベーションもあるので、勉強しやすいです。環境を整えるためには、自分に合った勉強場所を探すべきです。人によって自習室や図書館など違うと思います。私は、駅のフリースペースでやる時もありました。まずは、色々な場所で試してみてください。

そして、2つ目の「諦めないことの大切さ」についてです。受験勉強をする中で1番多い悩みは、苦手を中々克服出来ず、思うように点が伸びないということだと思います。私も実際、国語が本当に苦手で、目標は7割とることでし

たが、模試では5割とれたら良い方で、直前の模試でも4割しかとれませんでした。それでも、「ここまで来たら、勉強し続けるしかない」と思い、前日まで問題を解き続けました。その結果、本番で7割以上とることができ、得意教科だった数学よりも良い点をとることが出来ました。採点ミスなんじゃないかと思うくらい驚きましたが、**努力が報われてとても嬉しかったです。もちろん、努力は必ず報われるとは限りませんが、やり続けて損はありません。もし今、苦手教科があっても、共通テストが終わるまでは、志望校を下げずに勉強し続けてください。諦めなければ、点数は直前まで伸び続けます。**

最後に、先生はよく「部活も行事も最後までやりきった方がいい」「最後まで休まずに学校に来なさい」と言いますが、これは本当にその通りだと思います。最後まで全力でやりきることで、その後一気に勉強に集中することが出来ます。

また、受験直前は学校に来ることで気分転換になり、緊張もほぐれます。

受験は大変ですが、**本気で取り組めば、これからの人生の自信に変わります。**皆さんが志望校に合格できることを祈っています。

⑤「部活の経験を受験に活かそう」 大阪公立大学 (国際文化科)

受験勉強をする際において私が皆さんに覚えておいてほしいことは「自分なりの勉強方法を見つけること」です。もっと詳しく言うと、自分に一番合っており確実に継続できる勉強法を見つけるということです。一つの例として私の場合を挙げます。私は部活が8月までありました。正直言ってあまり勉強していない方でした。そのためいざ受験勉強をするとなった際、基本が周りよりなっておらずとても焦りました。**焦った結果あまり勉強に手がかず**、私は12月に私学の学校推薦(いわゆる"公募入試")を受ける予定だったのですが、何をしたらいいかわからず、とりあえず過去問を解きましたが、**今振り返ると効果的な勉強はできていませんでした。**その結果、**公募で落ちました。そのあと自分なりの勉強法が見つからず、焦りと共に迷走していました。**

そこで思い出したのが部活動にて顧問の先生がおっしゃっていた「**部活動での頭の使い方と勉強での頭の使い方は同じ**」という言葉です。その言葉を思い出し、一度部活動での私なりのやり方を思い出しました。部活動において私は焦ると周りが全く見えなくなりどんどん悪い方向に進んでしまいます。そのため自分で自主練などの計画を立てて行っていました。それを勉強に応用しようと思い、一から私の弱点や苦手分野をまとめそれに則って計画を立てました。そしてその計画をこなしているうちに**今まで分からなかった事も段々理解できるようになり、漠然とした焦りや不安も消えていきました。焦りと不安が消えたのが一番大きかったと思います。**そのあとは弱点を把握し、計画を立てて勉強する、の繰り返しでした。

最後にもう一度言いますが、自分なりの勉強方法を見つけてください。ほかの人に聞いたり真似したりしてもかまいません。**特にこの高校生活で部活動や何か一つのことを一生懸命に取り組んだ人は、そのときに「自分なりのやり方」というものを得たはず**です。応援しています。

⑥「最後まであきらめないで」 大阪教育大学 (国際文化科)

私は小学校の先生になりたかったので、小学生の頃から大阪教育大に憧れていました。特別支援について学ぼうと決意したのは高2の探究活動を終えてからでした。探究・科学探究って、大変です(でした)よね。でも、**私は探究の研究内容からなりたい教師像を再確認することが出来、志望専攻も決め直すことが出来ました。卒業後にやりたいことが決まっていないひとは、1度研究内容を振り返ってみるのも良いと思いますよ。**

私は部活や学校行事にも全力で取り組んで、とても楽しみました。3年の夏休みは、毎日“半日文化祭準備、残りの半日は受験勉強”でした。恐らく夏の勉強量は周りの人に全然足りていませんでしたが、**皆に追いつかないといけないという焦りから1日1日の過ごし方に気をつけるようになり、文化祭活動と受験勉強のメリハリを意識したこともあって、勉強の質が良くなりました。**高校生活最後まで楽しむしかありません！！

文化祭を終えてからは、共通テストまで**ほぼ毎日、朝は8時より前に登校して、放課後は最終下校時刻まで学校に**

残って勉強していました。また、2月も毎日友達と学校に通っていました。毎日人と会って会話をすることって、実は受験生にとって大切なことなんです。模試や共テの結果に対して不安になっても、共に過ごす仲間同士で励まし、元気付け合うことで心の状態が常に保たれます。皆が居なければ、私は合格していなかったと思います。塾の自習室でも構いません。とにかく、一人で勉強することはおすすめしません。

私は高校3年間塾や予備校に通わず、また、模試は3年間ずっとE判定でした。それでも私は諦めずに夢を追いかけ続けて合格を勝ち取りました。学校の土曜講習や長期休暇中の講習会はとても充実していますし、進路室の過去問等学習環境は整っているので、必ず塾に通う必要は無いと私は思います。通えない、通っていない人も安心して学校を活用してください。努力は自信に繋がります。体調管理本当に気を付けてね。応援しています。

⑦「進路を決めることに不安がある人へ」 関西学院大学 (国際文化科)

千里高校には、1,2年生の頃から、更には入学直後から、自身の進路の大枠を定めている人がたくさんいます。また、進路指導部の教師の方も、なるべく早く志望校を決定することを推奨されています。ですが私は、様々な周りの環境の変化と、それに伴う価値観の変化もあって、**3年次の夏まで志望校を決定できずにいました。それまでの間、周りの多数が将来の展望を見据えていることで、私は不安や遅れを少なからず感じていました。**千里高校においては、進路の決定に時間がかかる人は少数派であるようには感じますが、中には私のように、周りと比べて進路決定の遅れを感じている人もいます。そこで、**進路に迷っている人が今すべきことを、私の受験における反省を踏まえながらお伝えしたいと思います。**

まず、**進路決定に焦らないこと**です。確かに進路決定が早ければいいこともあります。しかし、進級・部活動の引退など、様々なタイミングで自分の価値観が変わる可能性があります。**焦ってネームバリューだけで志望校を決めたりせず、周りより遅くなくても熟慮して進路決定することを強く勧めます。**そのために、**現在進路に迷っている人は、いくつか進路の候補を見出ししておくことをおすすめします。些細なきっかけでもいいので、いくつかの選択肢を深く調べあげておくと、たとえ進路決定が遅くなったとしても焦ることは少ないです。**大学に行きたいという気持ちがないのなら就職や専門学校でもいいので、**ひとまず進路についていくつか真剣に調べることが重要です。**

次に、**基礎力を固めておくこと**です。せっかく進路を決定しても、自分の実力と残された時間が足りずに諦めることになってしまっは意味がありません。基礎力を身につけることで、急な決断にも対応することができ、進路決定に対しての不安も低減することができます。実際私も、**ある程度の基礎力が備わっていたからこそ、3年生になってからの進路決定でも対応することができました。**先が見えず不安になることもあると思いますが、未来の自分を信じて地道に積み重ねておくことは必ず結果に繋がります。

最後に、**学校の授業や選択制講習などを最大限活用すること**です。特に3年生は、授業がどんどんと入試に向けたものになってきます。また**土曜日や放課後の講習も千里高校では充実しています。こうしたものを能動的に利用することで、たとえ周りと比べて遅れをとっていたとしても巻き返すことができます。**

冒頭でも述べましたが、千里高校においては、私のように進路の決定がなかなかできない、見当もつかないという人は少数かもしれません。ですが、この文章を読んで、そのような人が1人でも多く安心して進路決定に臨めることを、私は願っています。まだ時間はたくさん残っています。悔いのないように毎日を過ごしてください。

－体験記を読んで、強く印象に残ったこと、参考にしたいことを記録しておきましょう－